



日東工業と Shizen Connect

EV のリユースバッテリーを活用した VPP 運用の実証を開始

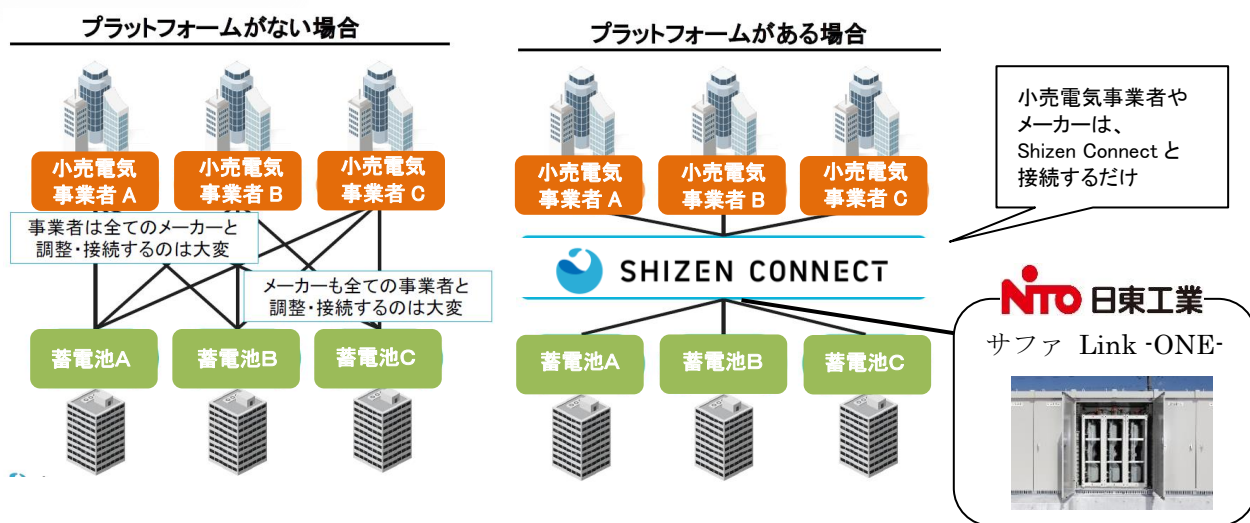
～需給調整市場への入札を想定した技術性を検証～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長：黒野 透、以下、日東工業）と VPP（※1）プラットフォームを提供する株式会社 Shizen Connect（以下、Shizen Connect）は、経済産業省が実施する「令和5年度 分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」（以下、DER アグリ実証事業）において、日東工業製の EV リユースバッテリーシステムを活用した電力系統安定化に寄与する VPP 構築の実証事業（以下、本事業）をすることを発表いたします。

本事業は、日東工業の掛川工場に設置している日東工業製の環境配慮型「産業用太陽光自家消費蓄電池システム サファ Link -ONE-」を、Shizen Connect が IoT 技術と人工知能（AI）を利用し、独自開発するアグリゲート・エネルギー管理システム「Shizen Connect（シゼンコネクト）」（以下、「Shizen Connect」）を活用し、充放電を遠隔制御することで、DER アグリ実証事業の枠内で DR 制御（※2）を行い、需給調整市場（三次調整力②）の制御の技術性を明らかにするものです。

日東工業は、EV リユースバッテリーシステムを通して、自家消費ニーズに加えマイクログリッド市場への対応など、新しい制御技術を採用することにより電力の安定化に貢献してまいります。

■実証イメージ図



※1. Virtual Power Plant（仮想発電所）とは、分散する電源（発電設備、蓄電池、EV など）や需要設備をあたかも一つの発電所のように集合制御するデジタル技術の総称です。

※2. DR（ディマンド・リスポンス）制御とは、消費者が賢く電力使用量を制御することで、電力需要パターンを変化させることです。これにより、電力の需要と供給のバランスをとることができます。

■実証概要

目的	日東工業製の EV リュースバッテリーシステムの VPP 構築における遠隔制御の技術性検証
期間	2023 年 12 月～2024 年 2 月
日東工業の役割	・ リュース蓄電池の遠隔制御方法確立 ・ 蓄電池や実証場所含む実証環境の提供
Shizen Connect の役割	・ 制御計画の立案と遠隔制御の実施 ・ 実証成果検証 ・ その他実証事業全体のとりまとめ等

■産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファ Link -ONE-」について

「サファ Link -ONE-」は、電気自動車の使用済みリュースバッテリーを活用した産業用太陽光自家消費蓄電池システムです。リュースバッテリーを使用することで製造工程での CO₂排出削減やレアメタルなどの資源再利用を行い、好循環サイクルの創出を実現します。



特設サイト



■会社概要

日東工業株式会社

本社所在地：愛知県長久手市蟹原 2201 番地

事業内容：高圧受電設備、分電盤、ホーム分電盤、光接続箱、金属製キャビネット、樹脂製ボックス、システムラック、ブレーカ、開閉器、電気自動車（EV・PHEV）用充電器シリーズ、熱関連機器などの電気機械器具製造・販売および発電・売電事業

URL：<https://www.nito.co.jp/>

株式会社 Shizen Connect

本社所在地：東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 3F

事業内容：VPP プラットフォーム事業、エネルギー管理サービス事業、IoT 機器販売事業など

URL：<https://se-digital.net>

■お問い合わせ先

【産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファ Link -ONE-」に関するお問い合わせ先】

日東工業株式会社

- ・ お客様からのお問合せ先：<https://nhs.nito.co.jp/safalink-one/inquiries>
- ・ 報道関係の方からのお問合せ先：広報室 電話番号：0561-64-0123
- ・ I R 関係の方からのお問合せ先：総務部 電話番号：0561-64-0112

【エネルギー管理システム「Shizen Connect」に関するお問い合わせ先】

株式会社 Shizen Connect

- ・ システムに関するお問い合わせフォーム：<https://www.se-digital.net/contact/>
- ・ 報道関係の方からのお問い合わせ：se-comm@shizenenergy.net

以上

お問合せ先：広報室 TEL:0561-64-0123

NITO 日東工業株式会社